



# 海外トレッキングツアーの楽しみ方講座

—トレッキングツアーの募集内容を理解し、安全で楽しいトレッキングに出かけよう！—

ヒマラヤをはじめ海外の山々には、日本にはない氷河、白雪を頂く高峰が聳えています。また、エーデルワイスやブルーポピーが咲き乱れる高原など、それらの景色を見ながらのトレッキングは楽しいものです。

一方、最近海外トレッキングツアーによる遭難事故も発生し、大きな社会問題になっています。これらの要因には、大陸特有の想像を絶する天候急変、行動中の判断ミスもあげられますが、ガイドまかせであるが故に、登山における基本「自分の身は自分で守る」という意識の欠如もあるかと思えます。ましてや4km、場所によっては5kmを越える高所での行動には、絶対守らねばならない原則があります。

トレッキングツアーと聞くと誰もが軽登山、あるいはそれ以下の楽なコースと思われがちですが、それらの募集内容には大きな開きがあります。その難易度、ツアー選択の知識、必要装備等の身支度、それら基礎知識を身につけ、安全で楽しい海外トレッキングに出かけてもらうため本講座を開講いたします。

**日 時 2月17日（日）午後1時30分～4時30分（受付開始 午後1時～）**

**会 場 葵生涯学習センター「アイセル21」（静岡市葵区東草深町3-18）**

**※事前申し込み不要。当日、資料代として500円を徴収いたします。**

**講 師 おおみや もとむ 大宮 求 氏 他、静岡県山岳連盟海外委員会役員**

**日本山岳協会国際部常任委員**

**鉄腕モトム高所登山学校校長、山学同志会OB**

**海外登山経験 76年ジャーヌー北壁、80年カンチェンジュンガ、81年ナンガパルバット、88年エベレスト、92年チョモランマ、95年ガッシュルムII峰 他多数**

70年山学同志会入会、74年2月谷川岳一ノ倉沢、滝沢第三スラブ積雪期単独初登はじめ、現在のクライミング世界選手権の前身、ソ連で開催された国際岩登り競技会に派遣されるなど、まだ日本に人工壁のない時代から先駆けとして活躍したクライマー。80年カラコルムラトックIV峰でクレバスに転落、右足骨折にもかかわらず4日間かけ氷壁に穴を掘り脱出、奇跡の生還を果たした。また、92年チョモランマ8,400m地点でビバーク、手指7本・足指5本、計12本を第一関節から失ったが、その後もヒマラヤ登山を続ける。現在は鉄腕モトム高所登山学校校長として高所登山やトレッキングの安全普及に努めている。

**【主 催】 静岡県山岳連盟 【後援】 静岡新聞社・SBS 静岡放送**

**【協 賛】 静岡市山岳連盟、日本山岳会静岡支部、静岡県勤労者山岳連盟**

**【問合せ】 出利葉 義次（静岡県山岳連盟海外委員長）E-mail deriha@tsc.u-tokai.ac.jp 携帯 090-1099-0887**

※本講座はトレッキングツアー募集を前提にしたり、旅行代理店の斡旋が絡むものではありません。情報提供としての場として講座を開講します。

